

CUCM トレースを読んで解釈するための Voice Log Translator (VLT) の使用

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco VLT のインストール](#)

[サポートされているプロトコル](#)

[Cisco VLT を使用する利点](#)

[Cisco VLT での分析](#)

[未処理の表示](#)

[詳細説明](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Voice Log Translator (VLT) ソフトウェアを使用して Cisco Unified Communications Manager (CUCM) のトレースを読み取る方法について説明します。

前提条件

要件

CUCM について十分に理解しておくことをお勧めします。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CUCM バージョン 8.X 以降および Cisco VLT に基づくものです。

Cisco VLT のインストール

Cisco VLT をサポートするには、x86 ハードウェア プラットフォームで動作する次のいずれかのオペレーティング システムが必要です。

- Microsoft Windows : Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 7 ま

- または Microsoft Windows Vista、XP、2003 または 2000
- Linux の場合 Red Hat Linux バージョン 9 および Red Hat Enterprise Linux AS バージョン 3.0

Microsoft Windows および Linux の両システム上で、VLT ソフトウェアはスタンドアロン アプリケーションまたはトレース コレクション ツールであるリアルタイム モニタリング ツール (RTMT) のプラグインとして実行できます。

このドキュメントでは、トレースを有効にして収集する方法については説明していません。詳細については、バージョン 7.x 用の [シスコ テクニカル サポート用の Cisco CallManager トレースの設定に関するドキュメント](#) を参照してください。これは、バージョン 8.x 以降についても適用されます。

Cisco VLT ソフトウェアは [Cisco ソフトウェア ダウンロード サイト](#) からダウンロードできます。

サポートするプロトコル

Cisco VLT ソフトウェアは次のプロトコルをサポートしています。

- H.225 および H.245
- Java Telephony API (JTAPI)
- Media Gateway Control Protocol (MGCP) および Call Associated Signaling (CAS)
- Q.931
- セッション記述プロトコル (SDP)
- Simple Client Control Protocol (SCCP)
- Session Initiation Protocol (SIP)

Cisco VLT を使用する利点

Cisco VLT を使用することには次のような利点があります。

- メッセージは表形式で表示されます。
- (コール参照で識別される) 特定の通話に対して、または特定のデバイスの IP アドレス、方向 (送信または受信)、プロトコル、コマンド、メッセージまたはチャネルを含むすべての通話のメッセージを表示できます。
- 指定した基準の通話のメッセージを表示できます。
- コール参照別にメッセージを表示できます。各メッセージには、表示タイムスタンプ、プロトコル、発信者番号および着信者番号が含まれています。
- 通話のデバイスの IP アドレス、方向 (送信または受信)、プロトコル、コマンド、メッセージ、コール参照またはチャネルが保持するテキスト文字列のメッセージを表示できます。

Cisco VLT での分析

Cisco VLT でトレース ファイルを開きます。タイムスタンプ、コール参照、プロトコル、または発信者および着信者番号のトレースの表形式の表示を次に示します。

トレースは次のような表示設定で分析できます。

- 未処理：トレースのファイルの内容をそのまま表示します。
- 単純な変換：この表示はテキストを再編成し、単純な変換を行います。
- 詳細：この表示ではテキストが表示され、表示について詳細な説明を示します。

未処理の表示

トレースの未処理表示のサンプル スクリーンショットを次に示します。

詳細説明

同じテキストの詳細説明付きの表示を次に示します。

SDP パラメータおよびその解釈の詳細説明を次に示します。

H.225 設定の詳細説明を次に示します。

注: 詳細については、『[Cisco VLT ユーザガイド](#)』を参照してください。